

皂莢の樹

サイカチ（皂莢、学名：Gleditsia japonica）はマメ科ジャケツイバラ亜科[1]サイカチ属の落葉高木。別名、カワラフジノキ。漢字では皂莢、椴と表記するが、本来「皂莢」はシナサイカチを指す。日本の固有種で本州、四国、九州の山野や川原に自生する。また、実などを利用するために栽培されることも多い。

樹齢数百年というような巨木もあり、群馬県吾妻郡中之条町の「市城のサイカチ」や、山梨県北杜市（旧長坂町）の「鳥久保のサイカチ」のように県の天然記念物に指定されている木もある。

Wikipedia より転載